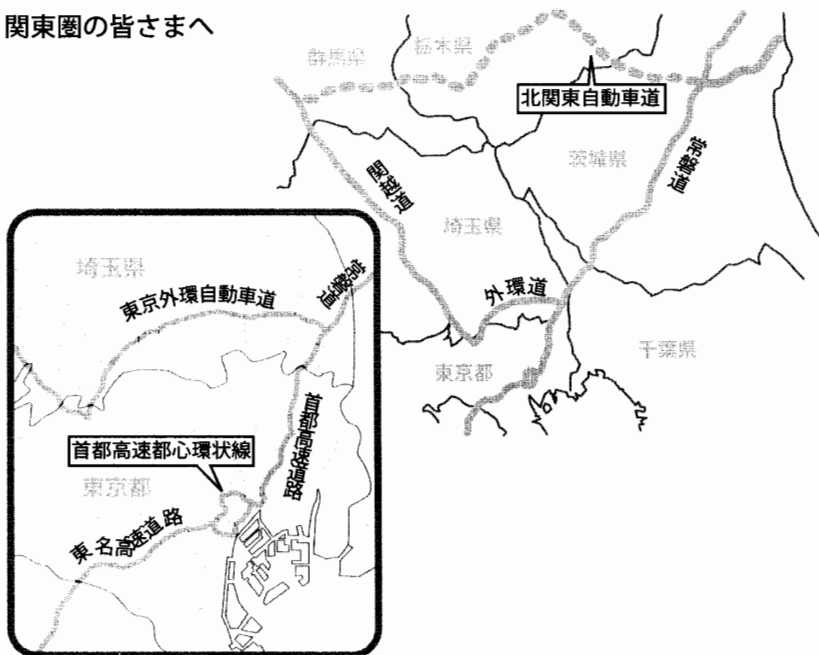


関東圏の皆さまへ



もんじゅ輸送は、これまで常磐道から首都高速道路を通過して東名高速道路に入り、米原から北陸自動車道へ進入する経路がとられてきました。首都高速道路内は6号線から3号線入るのですが、渋滞情報を参考にしながら、竹橋方面へ向かうルートか銀座方面へ向かうルートを選択しているようです。

ところが、2010年4月に行なわれた輸送ルートはこれまでと異なり、都内を通過せずに、三郷から東京外環道を通って関越自動車道に入り、上信越自動車道を経由して北陸自動車道から敦賀へ向かうルートを使いました。このルートは北関東自動車道が全線開通（2011年ゴールデンウィーク前の予定）すれば、これを利用すると思われます。距離は70kmほど延びますが、東京都内の交通渋滞を回避することができます。一方、難点は冬場の吹雪と考えられます。

もんじゅを廃炉に追い込み輸送がなくなるのが一番ですが、それまでの間、考えられるルートの全てでプルトニウム輸送の問題点を訴え、反対の声を拡げてゆく必要があります。